

標 題

出雲農林高校がグローバルGAPの公開審査会を開催！

(ダイジェスト)

出雲農林高校では、ぶどうとトマトで県版GAP認証である「美味しまね認証」を取得しており、ステップアップとして、今年度からグローバルGAP（以下G.GAP）の取得を目指し、生徒が中心となって準備してきました。このたび、公開審査が開催され、代表の生徒5名が審査会に臨みました。

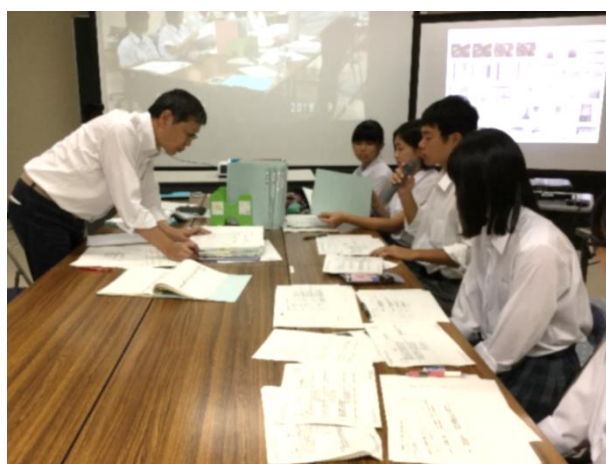
出雲農林高校では、「安全で美味しい農産物の生産」を目標に、授業の一環としてGAPに取り組んでおり、これまで県版GAP認証である「美味しまね認証」をぶどう、トマトで取得しました。

今年度から、美味しまね認証からのステップアップとして、ぶどうでG.GAPの認証取得を目指し食品科学科の2年生5名を中心に活動することとなり、出雲地域では、平成30年5月に農林高校、市、JA、県をメンバーとして「出雲地域GAP推進協議会」を設立し、同校のG.GAP認証取得を支援してきました。

5月、7月には同校にG.GAPアドバイザーの山野氏を招き、勉強会を行うと同時に、夏休みや放課後の時間を使い、リスク評価表や各種手順書などの書類作成が行われました。美味しまね認証である程度の基盤があったものの、G.GAPの規範に適合するための書類量は膨大であり、かなりの時間を要しましたが、ほ場や農薬保管場所等のリスクや、危機管理の体制などを生徒自らが作成しました。

9月6日には認証機関である（株）SGS ジャパンから審査員1名が来校し、公開認証審査が開催され、生徒、教員、関係機関等から約100名が出席しました。審査会では学校で取り組んでいる栽培概要の説明から始まり、各種書類審査、ほ場や調整場、農薬保管場所等の現場審査が行われ、代表の生徒5名が説明を行いました。8項目の改善項目がありましたが、後日改善した書類を提出し、最終審査が行われる予定です。

普及部としては、今後も同校のGAP実践を支援するとともに、GAPの普及・拡大を推進します。



G.GAP 審査会の様子（書類審査）



G.GAP 審査会の様子（現場審査）